

# めぐみイエス・キリスト教会

2021年10月17日(日)第三主日礼拝  
週報「通算第579号」



## 2021年標題聖句

ヨハネの福音書20章21節～22節

《イエスは再び彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父が私を遣わされように、私もあなたがたを遣わします。」こう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。』》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

## ◎礼拝プログラム

【前奏祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌258「墨よりも黒き心なれど」 p. 402

【交読文】 No.12詩篇第33篇 p. 888

【賛美Ⅱ】 新聖歌172「望みも消え行くまでに」 p. 248

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週説教】

【賛美Ⅲ】 オリジナル曲No.9「ひとつの心」

【聖書朗読】 ヘブル人への手紙11章8節～13節(新約p. 452)

【礼拝説教】 《アブラハムの信仰》

【聖餐式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和祈り】

【頌 栄】 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝祷後奏】

### ※本日の聖書箇所 ヘブル人への手紙11章8節～13節

11:8 信仰によって、アブラハムは相続財産として受け取るべき地に出て行くようにと召しを受けたときに、それに従い、どこに行くのかわからずに出て行きました。

11:9 信仰によって、彼は約束された地に他国人のようにして住み、同じ約束をともに受け継ぐイサクやヤコブと天幕生活をしました。

11:10 堅い基礎の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都の設計者、また建設者は神です。

11:11 アブラハムは、すでにその年を過ぎた身であり、サラ自身も不妊の女であったのに、信仰によって、子をもうける力を得ました。彼が、約束してくださった方を真実な方と考えたからです。

11:12 こういうわけで、一人の、しかも死んだも同然の人から、天の星のように、また海辺の数えきれない砂のように数多くの子孫が生まれたのです。

11:13 これらの人たちはみな、信仰の人として死にました。約束のものを手に入れることはありませんでしたが、はるか遠くにそれを見て喜び迎え、地上では旅人であり、寄留者であることを告白していました。

### ●ポイント1. 「ハラン(カラン)」とは？

メソポタミヤの都市でニネベの北西約385キロ、ダマスコの北北東450キロにあったと言われている。アッシリヤとバビロニヤの記録ではハッラヌという語でしばしば登場するが、これは「道」という意味である。

このことから分かるように、この町はニネベ、バビロンと南西部のダマスコ、ツロ、エジプトとを結ぶ大通商路の近くにあり、商業の中心地であった。カルデヤ人のウルと同様、主神は月神シンで、礼拝所があった。紀元前19世紀頃に繁栄した。アブラハムと父テラは、ウルを出てからしばらくここに住み、テラはこの地で死んだ。

### ●ポイント2. 「主なる神様のアブラハムに対する最初の言葉」とは？

#### ※創世記12章1節～4節「ハラン(カラン)において」 (旧約p.17)

12:1 主はアブラムに言われた。「あなたは、あなたの土地、あなたの親族、あなたの父の家を離れて、私が示す地へ行きなさい。

12:2 そうすれば、私はあなたを大いなる国民とし、あなたを祝福し、あなたの名を大いなるものとする。あなたは祝福となりなさい。

12:3 私は、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。」

12:4 アブラムは、主が告げられたとおりに出て行った。ロトも彼と一緒にであった。ハランを出たとき、アブラムは七十五歳であった。

### ●ポイント3.「主イエス様の弟子たちへの約束」とは？

#### ※マタイの福音書28章18節後半～20節「大宣教命令」(新約p.64)

28:18後半「私には天においても地においても、すべての権威が与えられています。

28:19 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、

28:20 私があなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。私は世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいます。」

◎先週の礼拝メッセージの概要は、次回に掲載予定です。

#### ◎お知らせ

①使徒の働き12章からの学びが終わり、本来ならば13章に入りますが、それは次回にまわすことにしまして、今回は鈴木師に与えられた「特別メッセージ」の10話の中の、一つを話させていただきます。

教会員の方々の中には、このメッセージを聞くことは、数回目になる方もおられるかと思われませんが、このメッセージは、何度でも、また何時どこにおいても、「語りなさい」と、主から許可をいただいておりますので、久しぶりに語らせていただきます。

今回は、平常通り「使徒の働き」に戻ります。パウロの第I次伝道旅行の記事となります。

②めぐみイエス・キリスト教会のホームページに掲載しております、「本日の礼拝メッセージの概要」は、今回に限り、無しになります。

③第四主日礼拝は、平常通り10月24日(日)午前10時から教会にて行ないます。また、聖書勉強会・祈り会は、10月20日(水)各家庭において行ないます。